キャンサーひょうご

ひょうごがん患者連絡会ニューズレターNo.14

発行責任者 黒田裕子　　編集 武内・田村・石上・草野

〒651-2109 神戸市西区前開南町 1-2-1 阪神高齢者障害者支援ネットワーク内

TEL 078-976-5050 FAX 078-977-0224　http://hyogo-capa.net/

“病気と上手に付き合い 毎日を大切に生きていこう”を合言葉に！！

ゆずりは淡路 事務局　山本 美奈子

ゆずりは淡路（代表 松浦歌子）は平成 15 年３月 30 日に乳がん患者会として発足いたしました。

発足のきっかけは、平成 14 年の「あじさい会」がん療養電話相談への一本の電話からです。「同じ病気をもつ方と話しがしたい」との乳がん患者さんからの相談でした。

その当時 淡路島にはがんの患者会はありませんでした。

がんと告知された辛い気持ちを吐き出せる場所や共感しあえる場の必要性を感じて、電話相談をいただいた方と協力しあい、また「あじさい会」の黒田様を始め皆様の多大なるご協力と後押しをいただいて会の立ち上げにたどり着きました。

患者会は第一回目の時から３社の新聞に掲載していただくことができ　共感された方１６人が集まってこられました。

その当時の患者さんが悩んでおられた内容は、もちろん病気に対する不安や身体的な悩みも多くありましたが、主治医の説明がわからないとか相談ができないとかの苛立ちや、治療の選択を迫られたが どうしたらいいかわからない等、医療者への不満も多くありました。その他 田舎という地域性もあり、がんという病気になった事を知られたくない、病気のことを言ったら仕事をやめさせられた‥‥いうような様々な悩みをもった方もおられました。

そこで 患者会の役割として

☺　例会を毎月開いて同じ病気を持った方と語りあえる場をつくる

☺　自分の病気のことを知る為の勉強会をする

☺　治療法とか互いの体験をいかした情報交換ができる場をつくる

☺　前向きに病気とむきあえるように心のケアができる場をつくる・・等を、みんなで確認して次のような活動を続けております。

１、講演会の開催

年に１～２回行う。

・免疫を高める方法、・乳がんや肺がんの治療法、・緩和医療とは、

・リンパ浮腫とは、・自分でできるリンパマッサージ法、

・薬物療法や放射線治療とは・・・など

２、「心のケア」活動

・笑いの効用「落語会」、・アロママッサージ、・絵手紙教室、

・ラフターヨガ、・音楽療法、・一輪刺しの講習会、

・その他：心のケアをテーマとした講演会開催

３、例会の開催

毎月第３日曜日に「お茶を飲みながら語り合える会」を開催する。

４、その他

・がん患者サロン

・相談会（ケアマネ・産業カウンセラー）

・淡路地域での電話相談

・身体にいい料理教室

など

今後も少しづつ成長できるように患者会の継続に頑張りたいと思いますが、まだまだ課題が多くあり、十分な広報もできておりません。

他のひょうごがん患者連絡会の皆様を見習いながら、またできるならばご指導もいただき淡路といういわば孤立した不便な環境でも可能な限り　がんで苦しんでおられる方が「その人らしく前向きに生きていく」為のお手伝いをさせて頂きたいと力不足なりにも願っております。

以　　上

ひょうご がん患者連絡会の活動概況を紹介します

（2010 年 10、11 月 活動分）

事　務　局

2010 年 10 月 21 日（木）：神戸市当局との話合い及び第７回運営委員会を開きました。

昨年 10 月来の県下 18 会場で開かれた「がん対策推進員研修会」一巡したので、兵庫県民の 3 割が居住し、がん検診受診率も低い神戸市当局との話合いを行った。

議題は「がん検診受診率向上に向けての啓発活動」である。

神戸市からは地域保健課のがん検診担当課長及び担当主査に出席していただき、連絡会からは会長、副会長及び各加入団体等の代表者 11 名が出席した。

確認事項は次の通りである。① 啓発活動の結果、神戸市のがん検診受診者数は大幅に増えてきているとの口頭報告があった。重要な指標であるので受診者数情報を追って提供して頂く。② 連絡会から神戸市に対して、講師を派遣するなど市と協働して啓発活動を行いたい旨、改めて申入れを行った。

2010 年 11 月 13 日（土）：第５回がん患者会研修公開講座を開きました。

日本医療政策機構理事 がん政策情報センター長 埴岡健一氏をお迎えし、「日本のがん対策の現状とがん患者団体の役割」について講演をしていただいた。

講演会では、先ず現状のがん治療に関する“患者の思い”を確認された後、がん対策の体系と資源配分の現状について説明された上で、がん対策推進基本計画（１２分野）の全項目について、① 進んだ点、② 残された課題、③ 兵庫県でできること に整理し、誰にでも分るような“見える化”した図表で説明をして頂いた。

講演では、がん対策推進計画を実施する上で顕在化してきた問題への取組み、および次期がん対策推進計画で取組むべき課題について多くの示唆を頂いた。

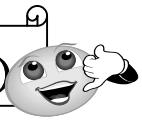
課題は多岐にわたっており、対応していくためには、これまでの行政・医療機関・患者団体の三位一体による取り組みから、患者団体・議会・行政・医療機関・報道・企業の六位一体による取り組みに拡大していく必要があること。そして、これらが夫々の役割を果たしてがん対策を着実に進めていくためには、実施主体を定めた“兵庫県がん条例”の制定が必要になることを説明いただいた。

次月に予定している兵庫県健康福祉部疾病対策課 田所昌也課長をお迎えしての公開講座「兵庫県がん対策の目指すところ」をお聞きした上で、今後の兵庫県がん対策の進め方について関係当局と意見交換をしていきたい。

その他

- **10 月 28 日（木）～30 日（土）：第 48 回日本癌治療学会学術集会**（テーマ：癌を治す、癒す）に、武内・田村両会員がスカラーシップメンバーとして招かれ参加した。全国からの患者・家族・支援者の招待者は約 50 名であった。
- **11 月６日（土）～８日（月）：「がん政策サミット 2010 秋」**（テーマ：地域の条例と予算を動かす）に、日本医療政策機構 がん政策情報センターから田村ひょうご在宅ターミナルケア専門委が招かれ参加した。全国のがん患者委員：39 名のほか、都道府県がん対策担当者：14 名、都道府県議会議員：29 名が参加した。

ひょうご がん患者連絡会行事予定（2010 年 12 月～2011 年 2 月）



日　時	行　事	テ　ー　マ・講　師	場　所
12 月 16 日（木） 18：00～20：00	第６回 がん患者会 研修公開講座	「兵庫県がん対策の 目指すところについて」 県疾病対策課長 田所昌也氏	兵庫県民会館 ３０４号室
20：00～	研修グループワーク	研修後の討議でテーマ決定	
～21：30	第８回運営委員会	―――――――	
１月 20 日（木） 18：00～20：00	第３回 フリートーキング会	――――――――	神戸クリスタルタワー４階 （未定）
20：00～20：30	第９回運営委員会	―――――――	
２月 17 日（木） 18：00～20：00	第６回 がん医療 研修公開講座	「どうなっている 在宅医療の現状」 だいとう循環器クリニック 院長　大頭信義氏	兵庫県民会館 ３０４号室
20：00～	研修グループワーク	研修後の討議でテーマ決定	
～21：30	第 10 回運営委員会	―――――――	

ニューズレターの編集について

このニューズレターは、５団体から応募いただいた編集委員による協議で編集し、会長の査閲を経て発行されます。

ニューズレターの構成は、第１面が各団体代表による取組み報告、第 2 面が各団体持ち回り執筆の連絡会関係の活動報告となっております。

この第 14 号は“ゆずりは淡路”さんに担当頂きました。第 14 号で、創刊以来続けてきました加入団体代表による執筆は一巡します。第 15 号（1 月発行）は武内広報リーダーに執筆をお願いし、以降は新たな企画で編集する予定です。　（事務局）

編集後記

ゆずりは　田村美生夫

このニューズレターは、各加入団体等の会員ならびに兵庫県知事、県健康福祉部各課長、県健康福祉事務所各所長、県下４１市町長、各がん拠点病院長および各報道機関にお届けしています。加入各団体代表による活動概要報告も一巡し、ひょうごがん患者連絡会がどのような団体の集まりで、どのような活動をしているかご理解を深めていただけたと思います。

県がん対策推進計画も中間点を迎えて、新たに顕在化してきた問題や次期がん対策推進計画で取組むべき課題が明らかになってきています。関係各機関のみなさんのご理解とご協力を得ながら、がんに罹患しても元気で安心して生活のできる社会の構築を目指して頑張りたいと思います。会員のみなさん方にも引続きご理解とご協力をお願い致します。